

地球温暖化と環境のなぞ解き

再生可能エネルギー、気候変動、地球温暖化と水の問題について

本講演会では、毎月開催されている勉強会のテーマの中から、再生可能エネルギー、気候変動、地球温暖化と水の問題などについて3名の講師が実践的な講演をいたします。

地球温暖化の結果としてどのように災害が発生するのか。温暖化がもたらす直接的な影響と、海洋と大気が異常気象をもたらしている状況を気象的な側面から解説します。また、生態系への悪影響に加え、感染症の増加、数億人規模の水不足、砂漠化の進行、そして食糧問題が必然的に起こります。その中から今回は、特に水に関するエピソードを紹介します。

一方、日本でも再生可能エネルギーの普及にともない持続可能な社会へ向けての取り組みが始まっています。NPO 世界環境改善連合が千葉県市原市で取り組んできた、ソーラーシェアリングを取り上げ説明します。市原市は、「チバニアン」でも注目されており地域の様子を紹介します。ご期待ください。

とき：2018年3月7日（水）14:00～17:00

ところ：文京シビックセンター 26階スカイホール

■（入場無料 定員 70名）

住所：東京都文京区春日1-16-21

電話：03-5803-1100（公財）文京アカデミー施設管理係

■交通機関

◆東京メトロ丸ノ内線・南北線 後楽園駅>【直結】

◆都営地下鉄三田線・大江戸線 春日駅（文京シビックセンター前）>文京シビックセンター連絡通路【直結】

◆JR 中央・総武線水道橋駅>【徒歩約10分】

■問い合わせ・参加申し込み

NPO 世界環境改善連合 山本まで

電話：090-6130-8590

Eメール：npo_weo@yahoo.co.jp

■懇親会

講演会後に講師を囲んで、懇親会を行います。

25階「椿山荘レストラン」にて17:30～19:30

会費3000円（20席予約済み／事前にお申し込みください。）

NPO 世界環境改善連合（WEO）は、世界的に喫緊の課題である地球温暖化防止のため、CO2の急速かつ大幅削減を訴えています。国内では、社会教育、子どもの健全育成を通じ、個人レベルでの意識向上を図ると共に、世界的な広がりを図り、世界世論の醸成も図って、この問題解決のスピードアップに寄与することを主たる目的としています。

<http://npo-weo.org/>

NPO シンビオ社会研究会は、京都大学からスタートし、科学技術の人間・社会・環境との関係で望ましい共生（シンビオシス）関係を生成するには、ヒューマンインタフェースの観点から再構築する必要があると考えています。共生社会の課題を、立場の異なる様々な人々が共考して、相互理解し、それぞれの人々が絆を深めて、心豊かに人生を享受できるよう質の高い非営利活動を行っています。

<http://sym-bio.jpn.org/homepage.php>

■ プログラム

- 14:00 開場
14:20 主催者あいさつ 吾郷 巖
NPO 世界環境改善連合理事長
14:30 講演1 高澤 真
「ソーラーシェアリングの実践と世界が注目するチバニアンについて」
15:10 講演2 石川勝敏
「気候変動と生活への影響」
15:50
16:00 講演3 永里善彦
「地球温暖化と水の科学、歴史上の環境エピソード」
16:40 閉会あいさつ 吉川榮和
NPO シンビオ社会研究会会長



■ 講演者プロフィール・講演概要

[高澤 真] たかざわ・まこと



NPO 世界環境改善連合理事、東湘物産(株)専務取締役、ソーラーシェアリング上総鶴舞代表、ちば・里山バイオマス協議会代表幹事、市原市バイオマス利活用推進協議会委員 バイオマス活用アドバイザー。

【講演概要】 2013年に農水省が営農型発電の指針を出した後、全国初となる「ソーラーシェアリング上総鶴舞」は、NPO 世界環境改善連合の協力で千葉県市原市に完成した。

その後5年間の実践について話す。また、市原市の地層が世界的に注目されているチバニアンについて説明する。77万年前の地磁気の逆転現象による地質年代で、日本初の命名が待たれる。地質年代は地球の生物の歩みを理解する上で欠かせない。過去の気候を探り、将来を予測する重要な手掛かりになる。

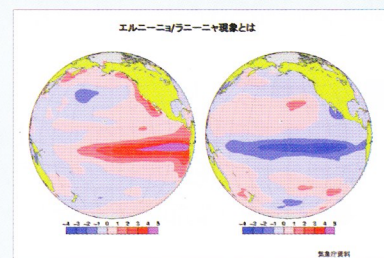


[石川勝敏] いしかわ・かつとし



株式会社ライフビジネスウェザー代表、NPO 世界環境改善連合理事、一般社団法人スポーツ健康科学学会理事。2000年生気象学に基づくLMD(Life Weather Merchandising)、気象変化とただの変化のDatabase marketing(Cloud)を開始。2008年、1kmメッシュ極精細気象予測システム開発し、局地的異常気象発生予測を実行。2015年、奈良県立医科大学とMBT(Medicine-Based Town)医学を基礎とした街づくりの共同研究開始。

【講演概要】 社会活動が温暖化に影響する現実と、異常気象発生の現況を気象的な側面から解説し、気候変動がどのように日常生活に影響しているかを説明する。温暖化が原因で発生した過去の災害事例を紹介しながら、自然災害に対する防災の心構えを解説する。また、我々が日常とるべき行動や社会活動も問題提起する。



[永里善彦] ながさと・よしひこ



創造科学研究所代表、シンビオ社会研究会副会長、中央教育審議会大学院部会等委員。1965年旭化成入社、2004年(株)旭リサーチセンター社長、環境省・中央環境審議会総合政策部会/地球環境部会等委員、経団連・産学官連携推進部会長等を務めた。専門はエネルギー・環境分野。京大博士(エネルギー科学)

【講演概要】 今回は、温暖化による数々の環境事象を紹介するとともに、水にからまる諸問題(争い、食料問題、仮想水など)や水の科学(造水技術のハイテク化等)そして水に関する興味深い話題を提供する。併せて、最近の環境考古学の研究成果として、地球誕生以来の歴史上の環境事象に絡まるエピソードを紹介する。